6. 架装上の注意事項

６－１　上物架装にあたっての一般的注意事項 …… ６ － 1
６－１－１　責任分担について …… ６ － 1
６－１－２　架装、改造メーカ殿へのお願い …… ６ － 1
６－２　平成 13 年車外騒音規制対応部品について …… ６ － 2
６－３　キャブ後端面とリヤボデー前面について …… ６ － 2
６－４　リヤスプリングとの干渉防止について …… ６ － 5
６－５　ブレーキ用ナイロンチューブ取扱い上の注意 …… ６ － 5
６－６　インパネまわりの取外しについて …… ６ － 6
６－７　アンテナ周辺の注意事項 …… ６ － 10
６－８　無線機搭載について …… ６ － 11
６－９　オイルパンヒータコンセント位置 …… ６ － 13
６－１０　エア取り出しについて …… ６ － 14
６－１１　キャブ塗装後の取付け部品（交換部品）について …… ６ － 16
04 ６－１２　サブラジエータ取付および冷却水導入口位置 …… ６ － 19
６－１３　電子機器装置の取扱いに関する注意事項 …… ６ － 22
６－１３－１　改造禁止について …… ６ － 22
６－１３－２　アース取外し時の注意 …… ６ － 22
04 ６－１４　NOx センサの取扱いについて …… ６ － 23

（最終ページ, ６ － 23 ）

共通編へ

02 ## 6－1　上物架装にあたっての一般的注意事項

6－1－1　責任分担について

車両は、シャシに上物が架装されて初めて車両として完成し、その機能を発揮します。したがって1台の車両については、シャシメーカ、上物メーカ殿がそれぞれの担当範囲について、製造物責任を負うということになりますので、下記により、上物架装をお願いします。

（1）上物架装時および架装のためシャシの改造、加工を行う場合には、日野自動車が発行する架装要領を厳守して下さい。

（2）架装要領と異なるシャシの改造、加工については架装メーカ殿の責任とします。

6－1－2　架装、改造メーカ殿へのお願い

（1）設計、製造、検査の各段階における製品の安全化に一層の配慮をお願いします。

①安全性を確保した設計

十分な安全性能の確保と安全装置の装備をお願いします。

（特に操作等にて身体の触れる可能性のある部位）

「業界レベル、他製品の安全性」にも留意して下さい。

②図面等に合致した製造

図面指示等に合致した製造品質を確保して下さい。（誤品、欠品、組付け不良の防止等）

③完成検査の実施

完成検査の全数実施と検査記録の作成をお願いします。

④図面、文書、検査記録の保存管理

①～③に関する図面、文書、検査記録の保管ルールの作成、徹底をお願いします。

（2）取扱説明書、警告ラベルを充実して下さい。

①取扱説明書

不適切な取扱いや誤使用が、お客様の身体、車両等におよぼす影響等を、具体的に注意文として記載して下さい。

②警告ラベル

より安全に車両を使用していただくため、ラベルに注意事項を簡潔に記載し、的確な位置に貼付して下さい。

（3）架装上の注意事項につきましては、「架装要領・共通編」との整理・統合を図り、本章へは車型毎の固有情報のみの記載といたしましたので架装検討に際しましては、

「日野　レンジャー　架装要領・共通編　No.MK1101-＊＊」を併せてご覧下さい。

6－2　平成 13 年車外騒音規制対応部品について

共通編「4章　騒音規制対応部品」に記載しましたのでご覧下さい。

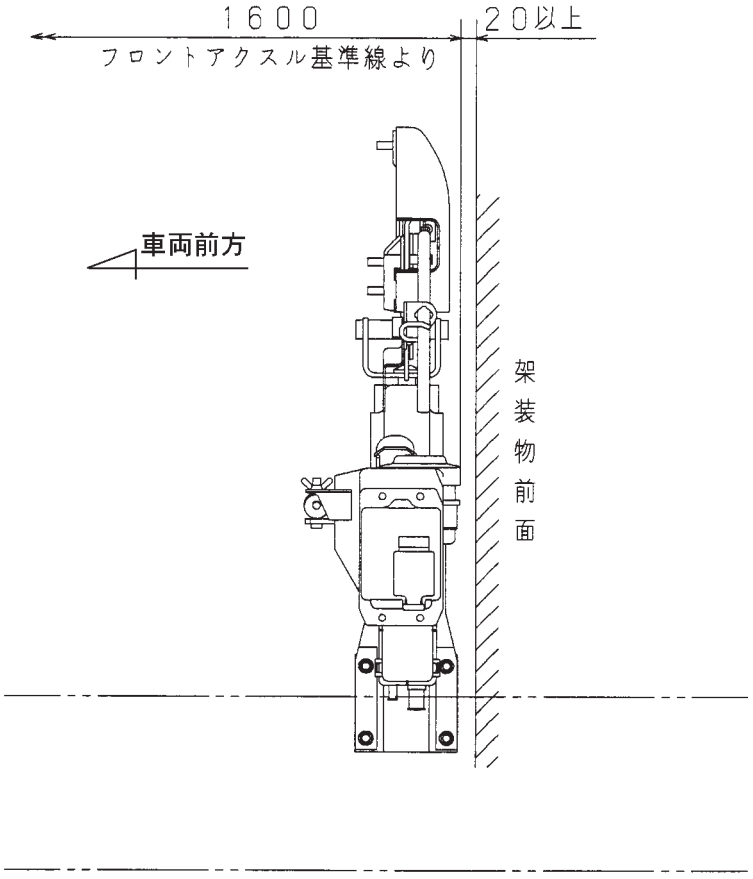
6－3　キャブ後端面とリヤボデー前面について

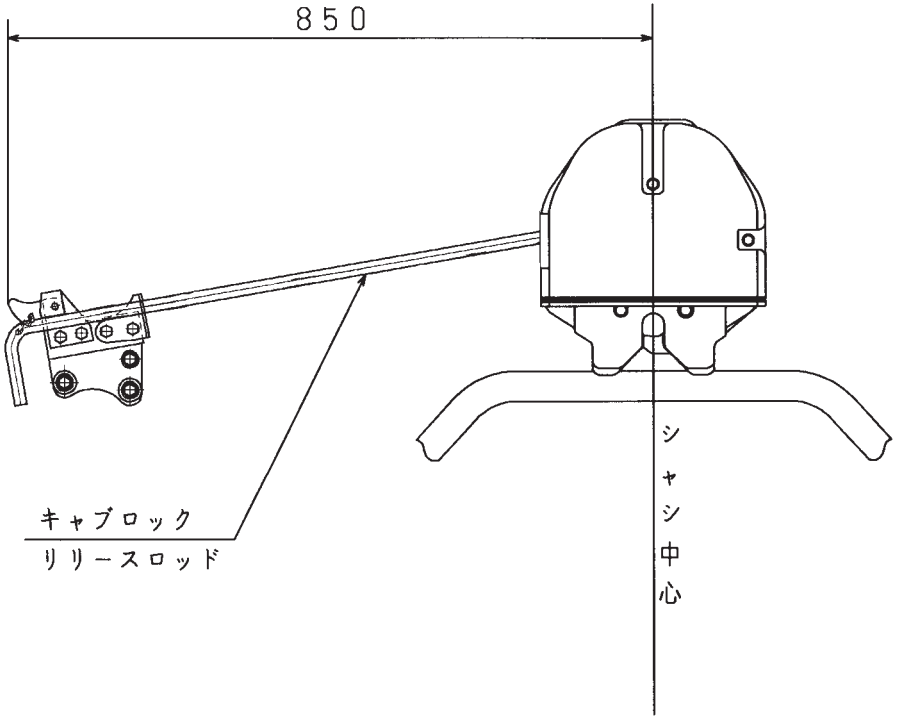
キャブ後壁とボデー前端の間には、キャブロックレバーを操作するための隙間が必要です。

下図を参考にボデー前端位置および形状を決めて下さい。

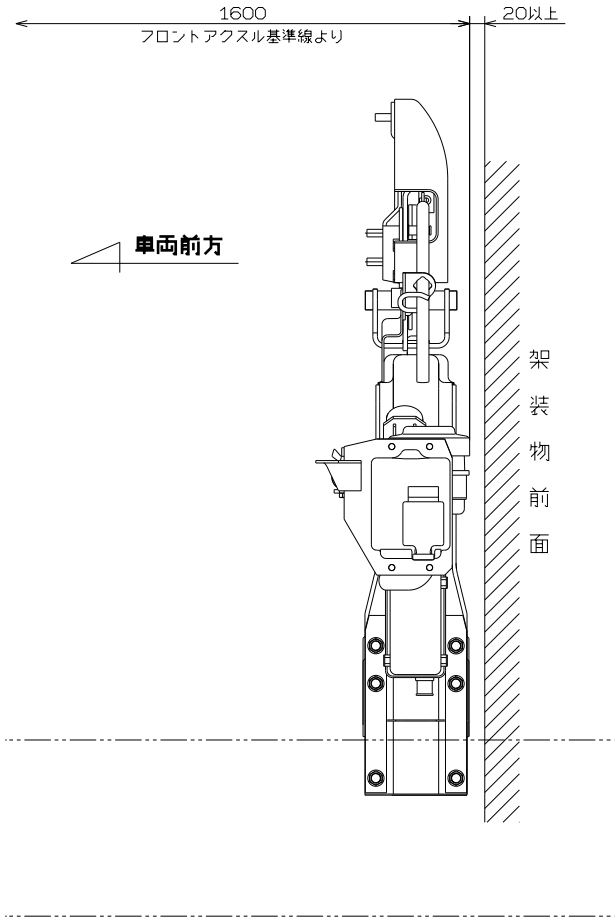
（1）キャブロック装置部

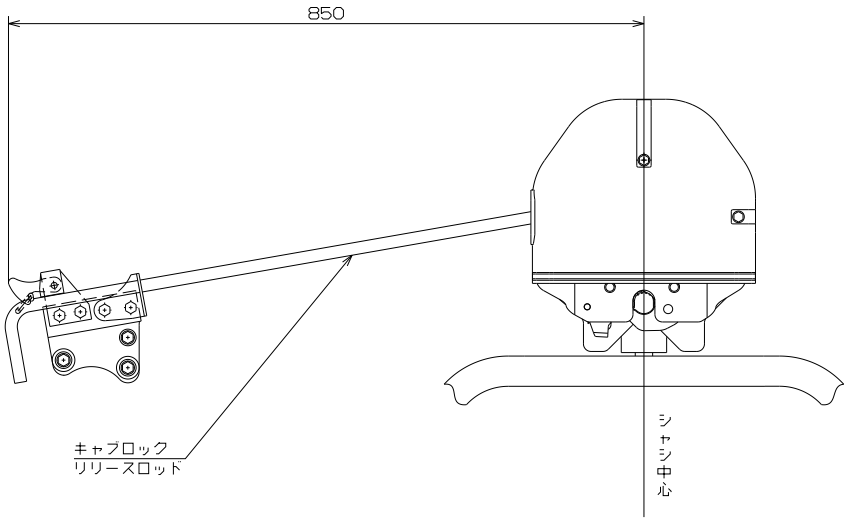
1）キャブロック部（FT 車を除く）





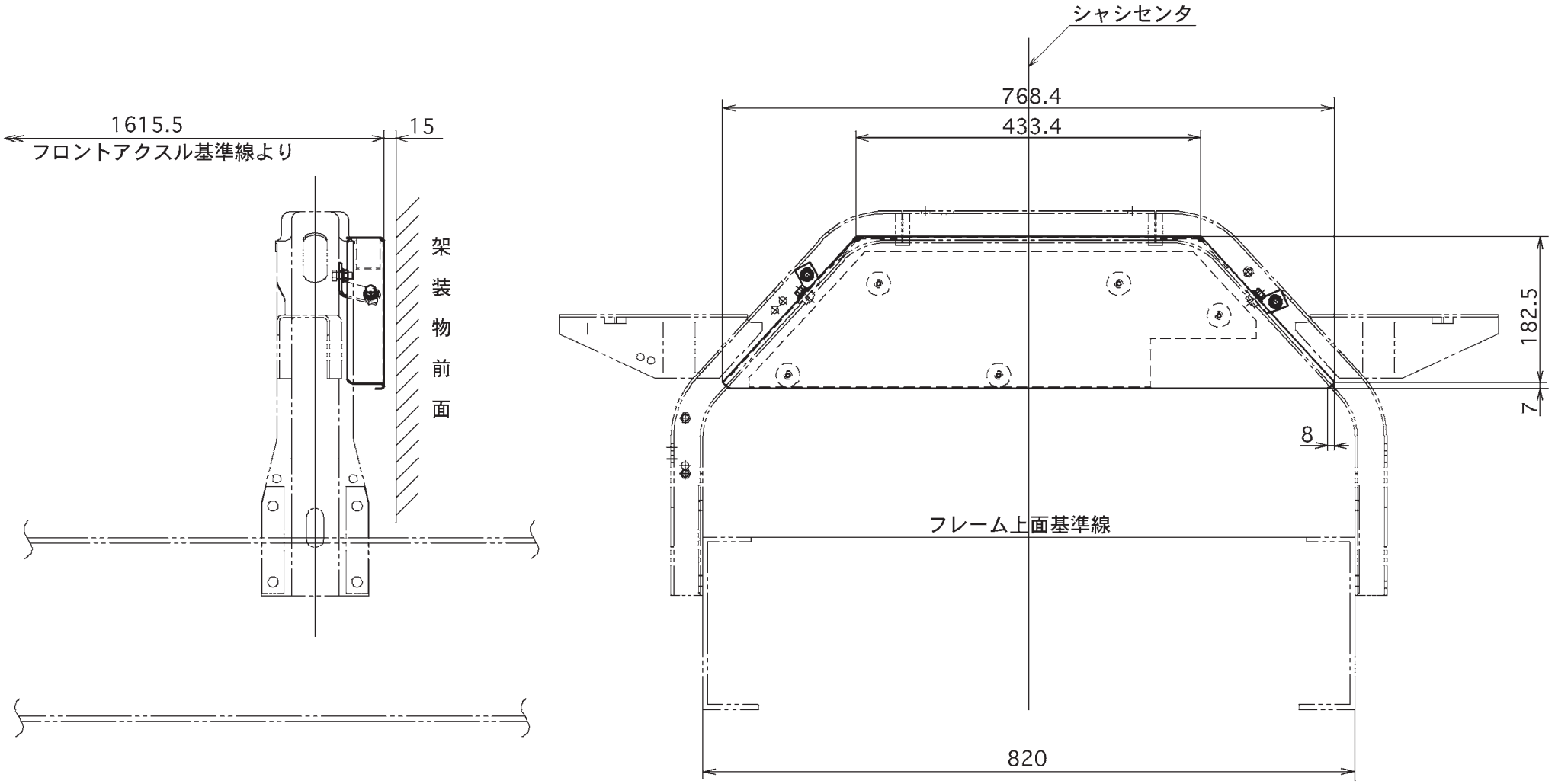
02 2）キャブロック部（FT 車用）





（2）リヤアーチカバー部

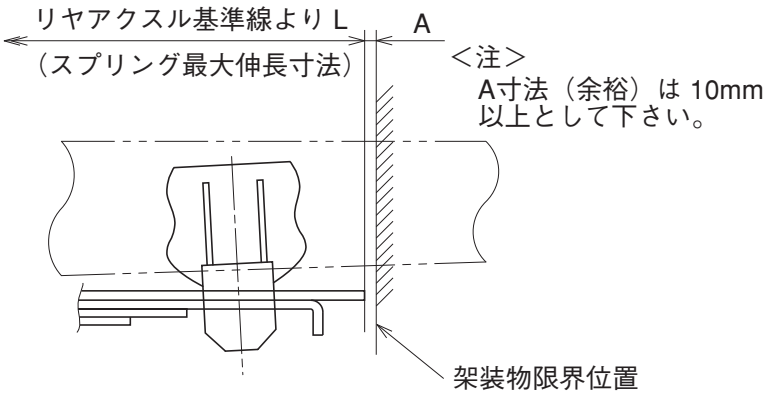
①ダブルキャブ車 02 (FT 車を除く)



6－4　リヤスプリングとの干渉防止について

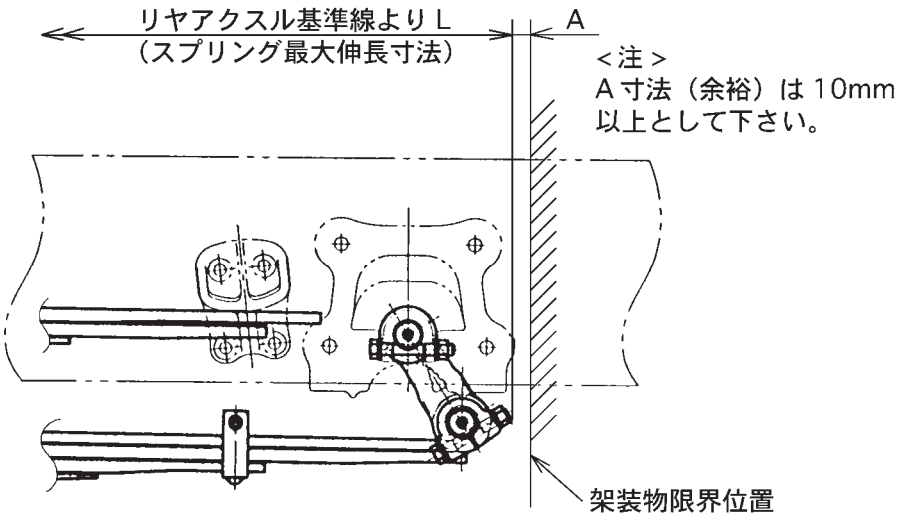
リヤスプリングとの干渉を防止するため、下記寸法内での架装物取付およびフレームの短縮は行わないで下さい。

（1）FT 系を除く



車　型	L
FD系	820
GD系	
FE系	
FX系	
GX系	
02 FT系	725

02（2）FT 系



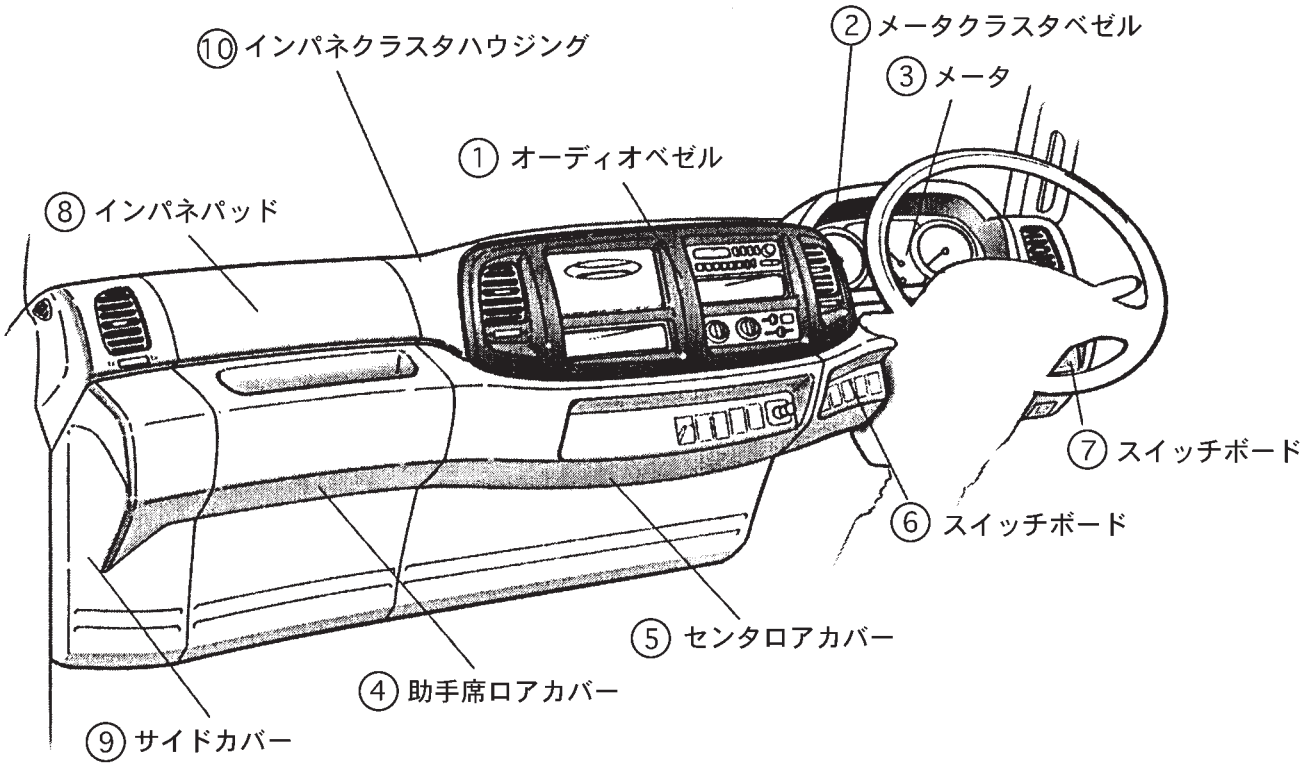
6－5　ブレーキ用ナイロンチューブ取扱い上の注意

ブレーキ系やエア系の保守・点検や改造等で配管を脱着する場合には、必ず機器側、配管側に合マーク（ペイント、テープ、荷札等）を付け、再組付け時に絶対に誤組付けがないようにして下さい。
機器類と配管の誤組付けはブレーキ系やエアを使用しているシステムに重大な機能障害を与えます。

6－6　インパネまわりの取外しについて

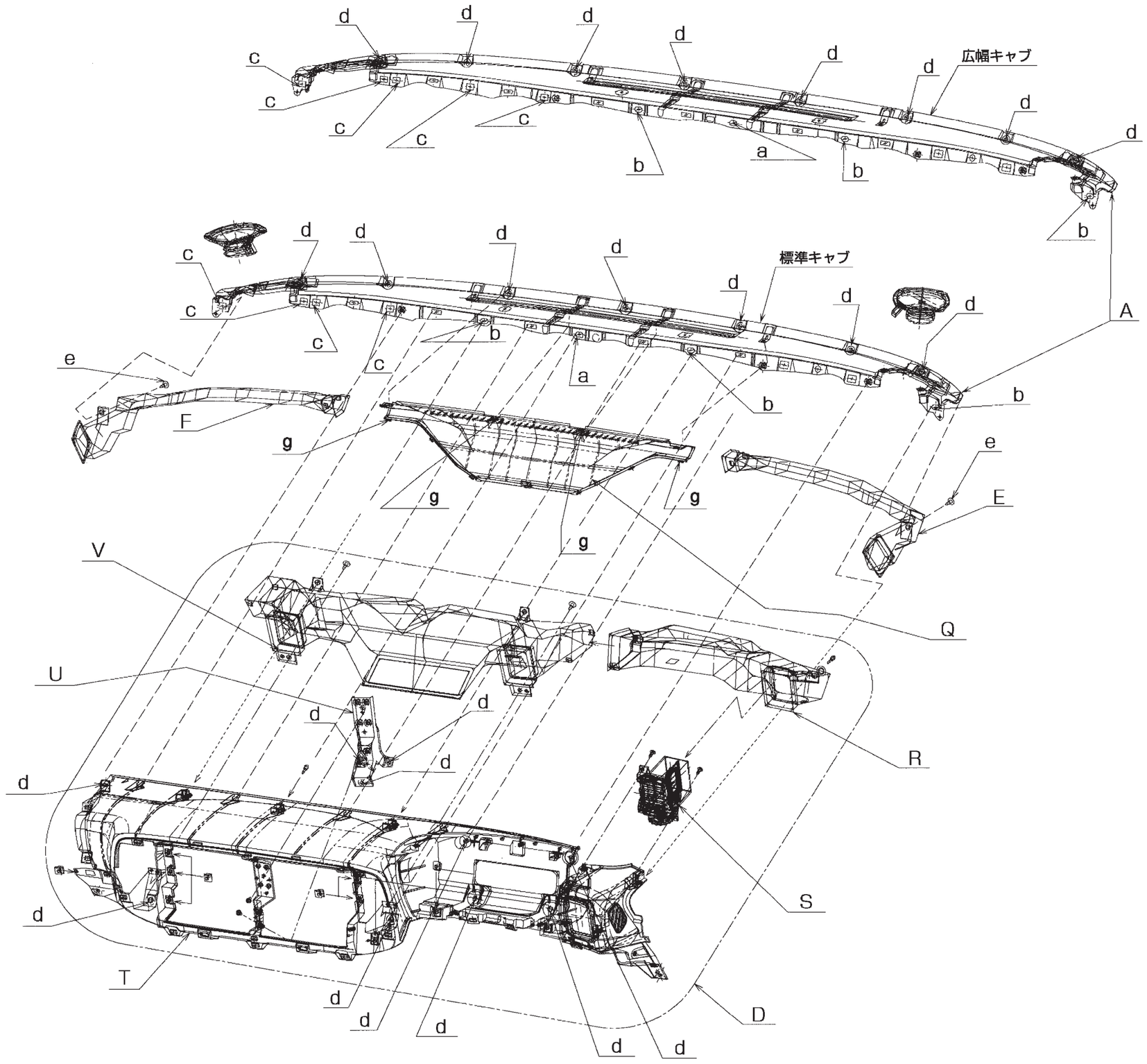
上物関連のリレー、ヒューズなどの増設およびキャブ側予備電源利用のため、インパネまわりを取外す場合は、下記を参照して実施して下さい。

（1）取外し順序

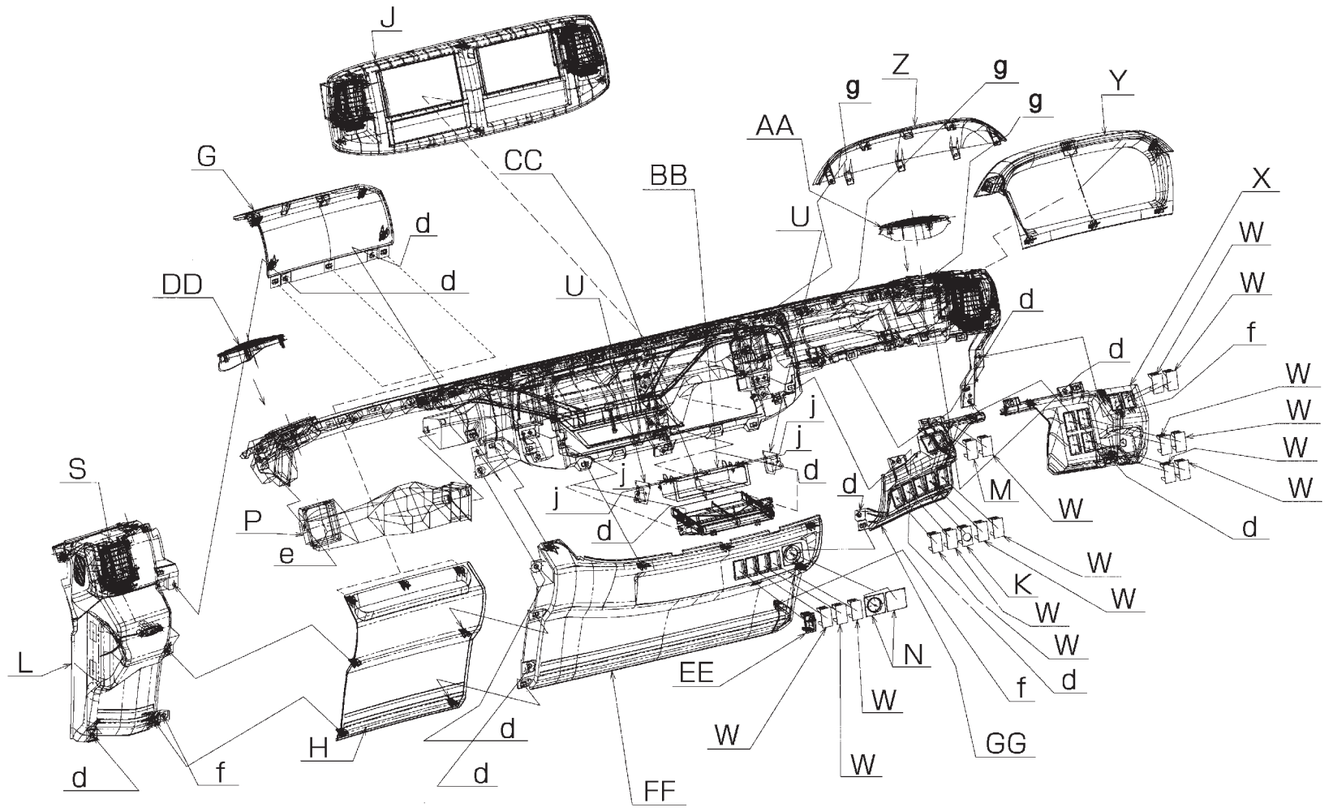


①②④は、独立して行える作業です。
⑤⑥⑦は、スイッチ類、シガライタおよびスロットルコントロールを外す必要があります。
⑧⑨は、④を外しておけば独立して作業を行えます。
④を外す際、パネル下部の両端より手前に引くようにして取外して下さい。
なお、⑩のインパネクラスタハウジングを完全に取外すには、①～⑧を外し
更に、・ヒータコントロール
　　・オーディオ
　　・DIN ポケットおよび DIN スペース架装物
を取外す必要があります。

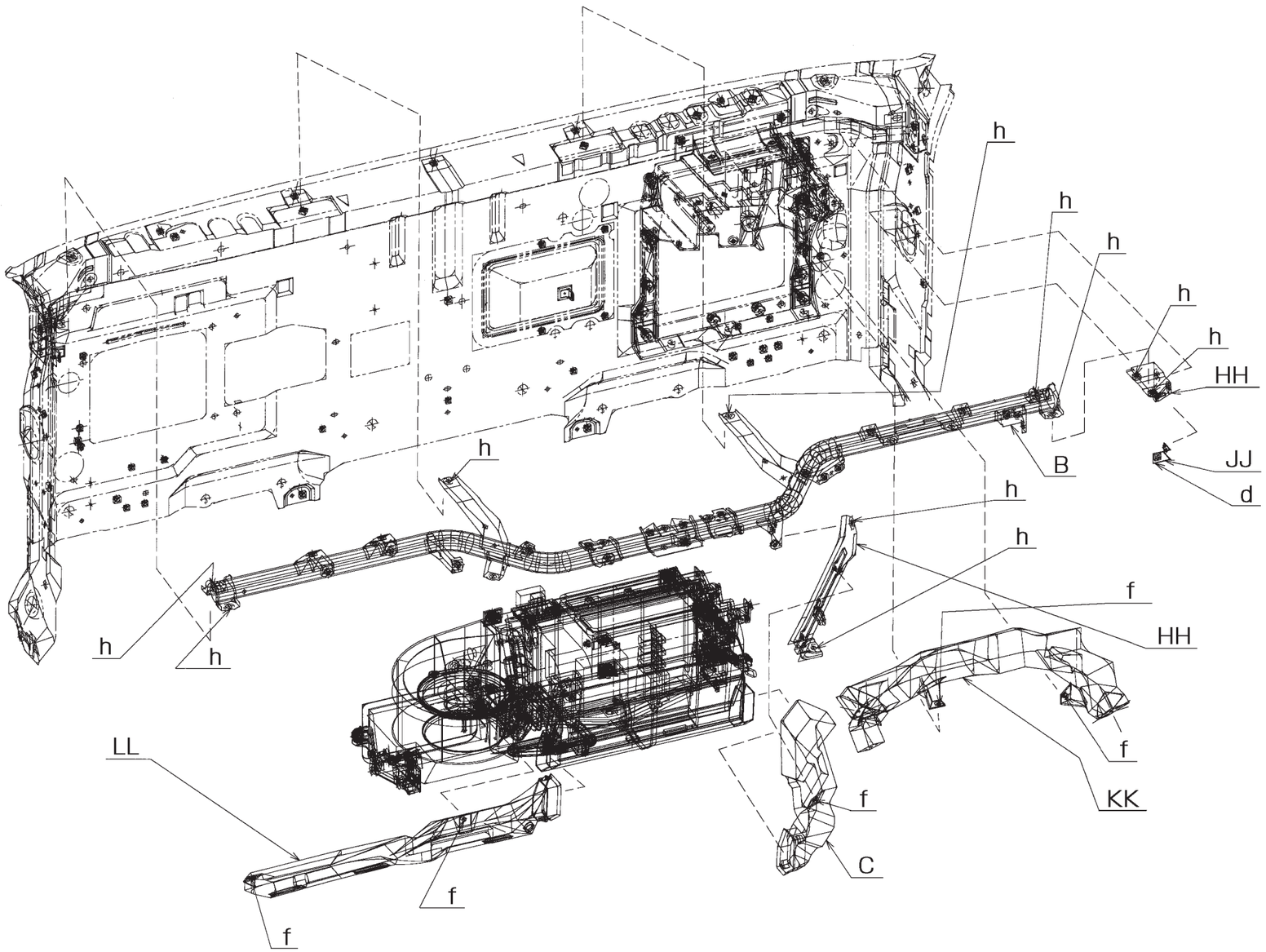
（2）構成・組立参考図



	部品名称
A	パネル、インストルメントアッパ
D	パネル、インストルメント
E	ホース、デフロスタ
F	ホース、デフロスタ
Q	ノズル、センターデフロスタ
R	ダクト、ヒータ～レジスタ No.1
S	レジスタ、インストルメントパネル No.2
T	ハウジング、インストルメントクラスタ
U	ブラケット、エレクトリックパーツ
V	ダクト、ヒータ～レジスタセンター
a	クリップ
b	クリップ
c	リテーナ
d	ボルト（M6）
e	リテーナ
g	タッピングスクリュー



	部品名称
G	カバー、インストルメントパネル
H	パネル、インストルメントロア No.1
J	パネル、インストルメントクラスタ
K	プラグホールまたはカバー、スペアスイッチホール
L	パネル、サイドインストルメント
M	プラグホールまたはカバー、スペアスイッチホール
N	ベゼル、シガライターホールまたはプラグホール
P	ダクト、ヒータ～レジスタ No.2
S	レジスタ、インストルメントパネル No.2
U	ブラケット、エレクトリックパーツ
W	ホールプラグ
X	パネル、スイッチボード No.2
Y	ベゼル、インストルメントクラスタ
Z	パネル、インストルメントクラスタフィニッシュ No.1
AA	カバー、スピーカ
BB	カバー、ステレオオープニング
CC	ホルダー、カップ
DD	カバー、スピーカホール No.2
EE	コートハンガー
FF	パネル、インストルメントロア No.2
GG	パネル、スイッチボード No.1



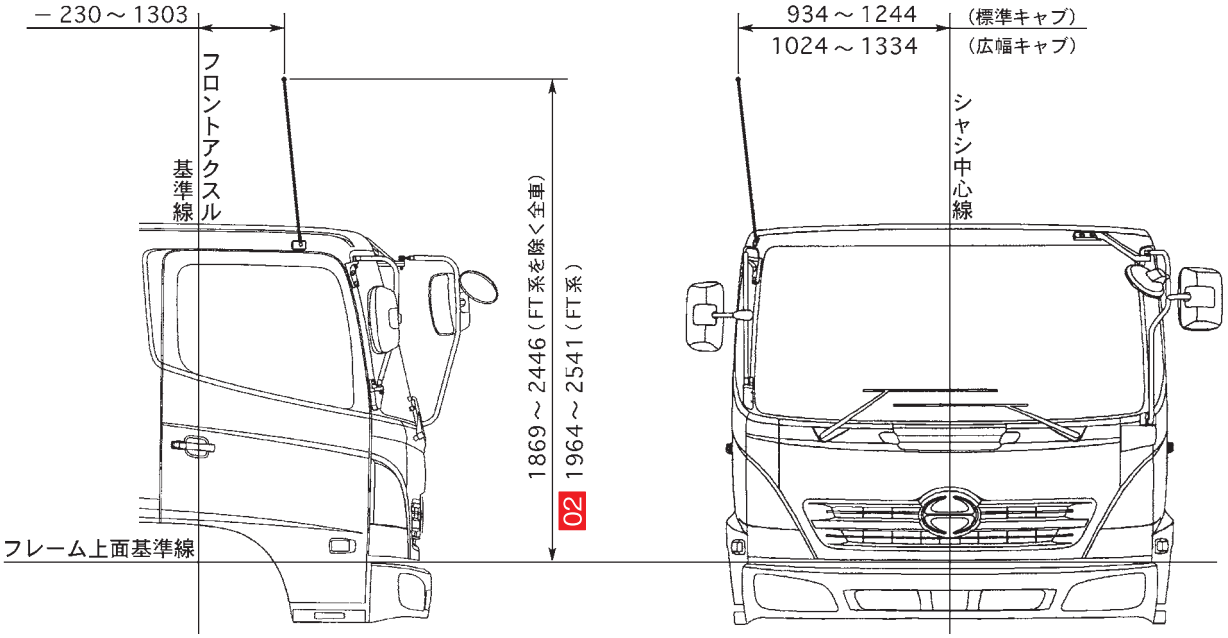
	部品名称
B	レインフォースメント、インストルメントパネル
C	ダクト、ヒータ～フット No.1
HH	ガセット、インストルメントパネル
JJ	ブラケット、インストルメントパネル
KK	ダクト、ヒータ～フット No.2
LL	ダクト、ヒータ～フット No.3
d	ボルト（M6）
f	リテーナ
h	ボルト（M8）

6－7　アンテナ周辺の注意事項

キャブルーフに設置されているラジオアンテナ（可撓式）は通常直立状態で使用しますが、走行状況によっては前後に傾けることもできます。

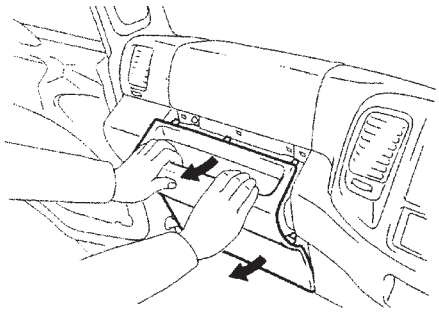
アンテナの可動範囲を下図に示しますので架装物はこれに干渉しないように注意して下さい。

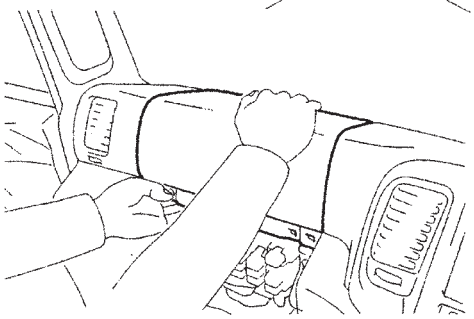
アンテナが架装物等に干渉すると雑音や受信不良の原因になります。



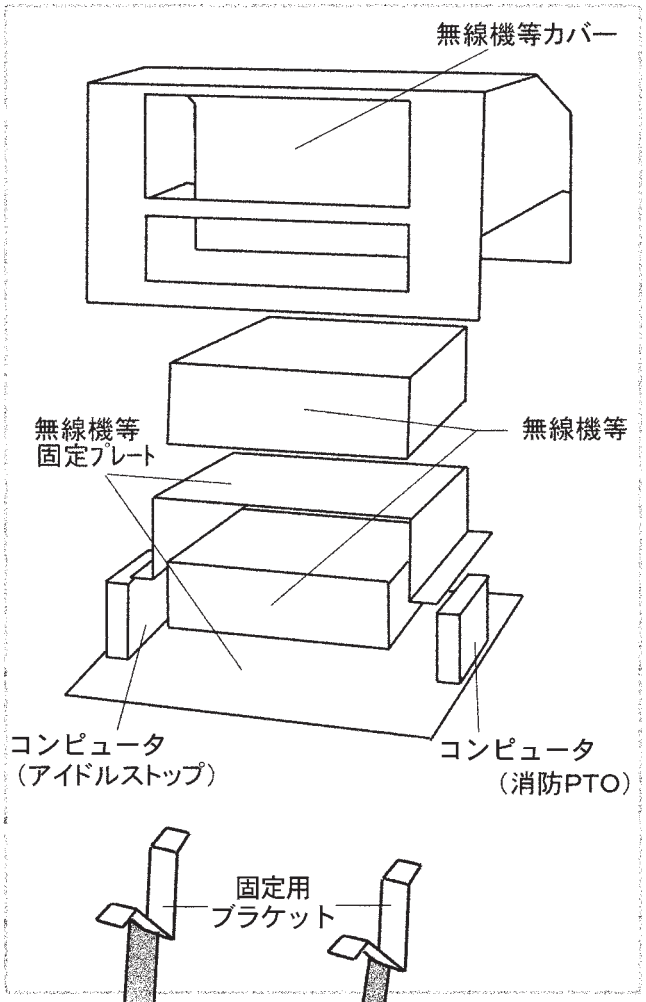
6－8　無線機搭載について

1）インパネ上への無線機等の搭載方法は、助手席ロアカバー、インパネパットを取り外し、搭載用ユニット（架装メーカ殿手配部品）にてインパネリインフォースに取り付けて下さい。

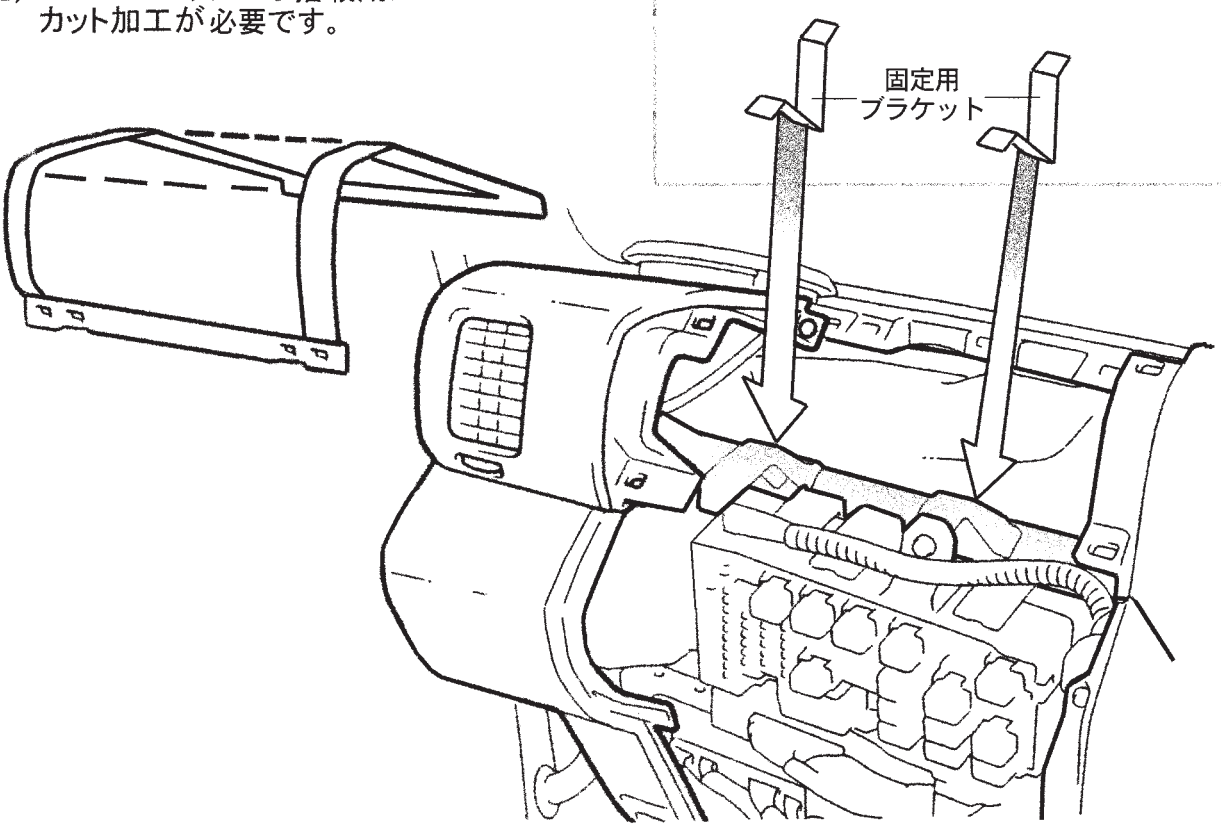




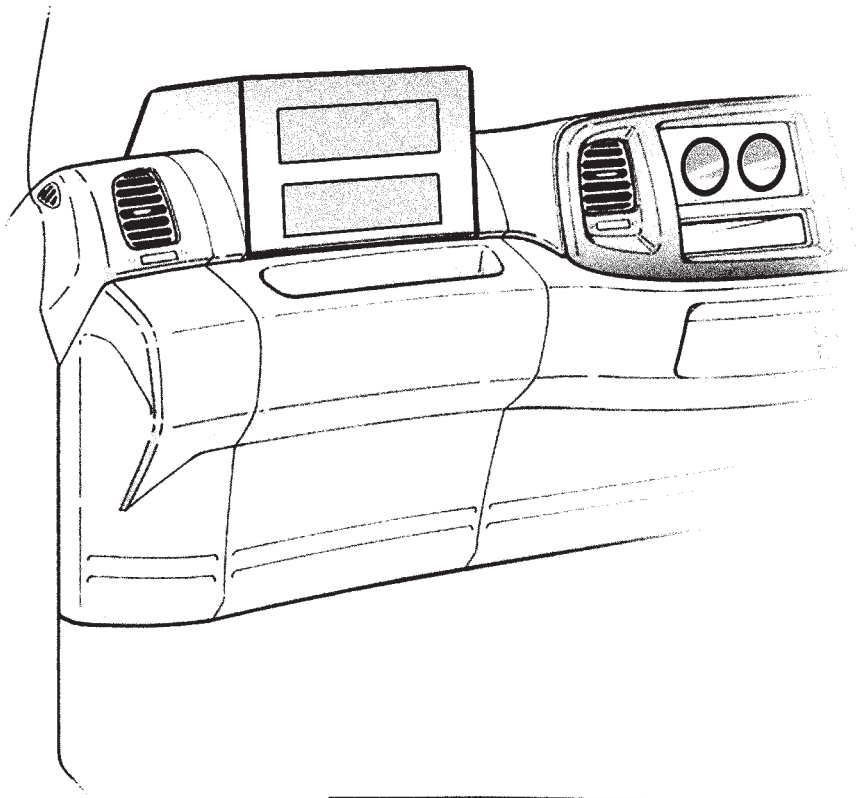
搭載用ユニット

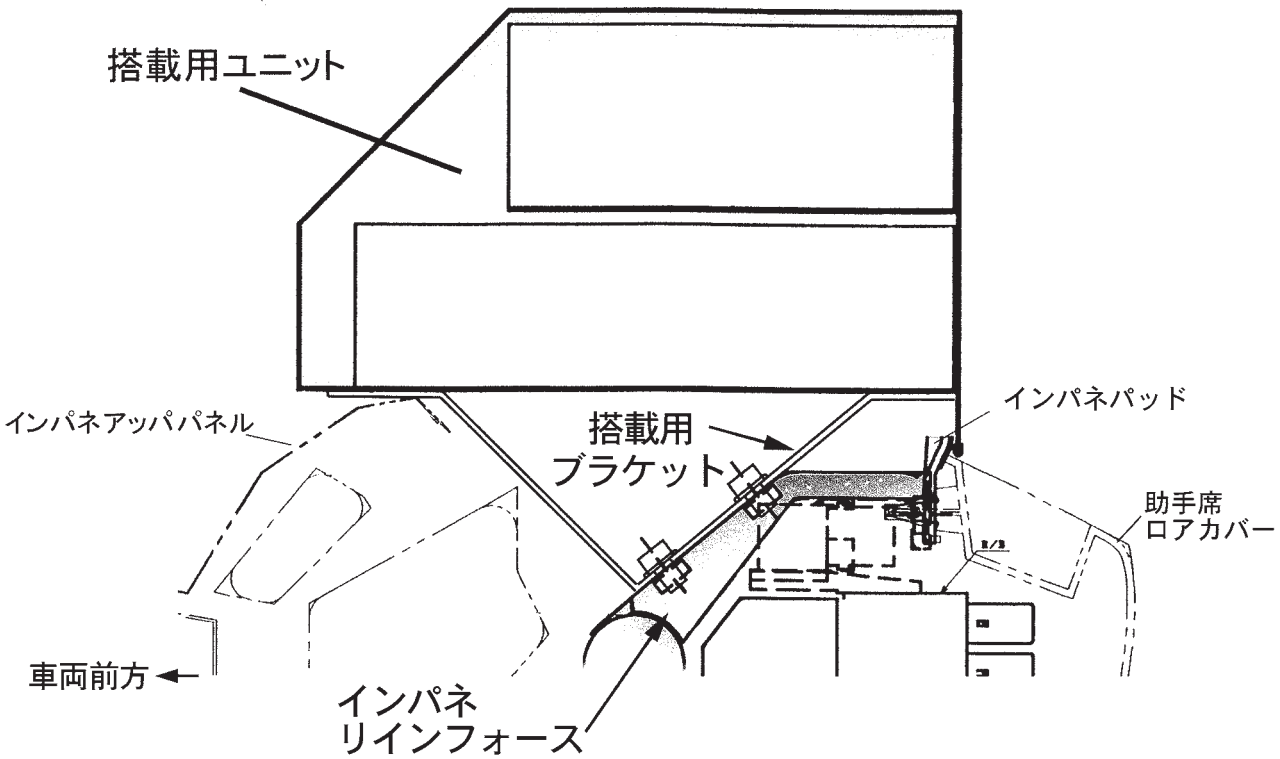


2）インパネパットには搭載用にカット加工が必要です。



搭載イメージ

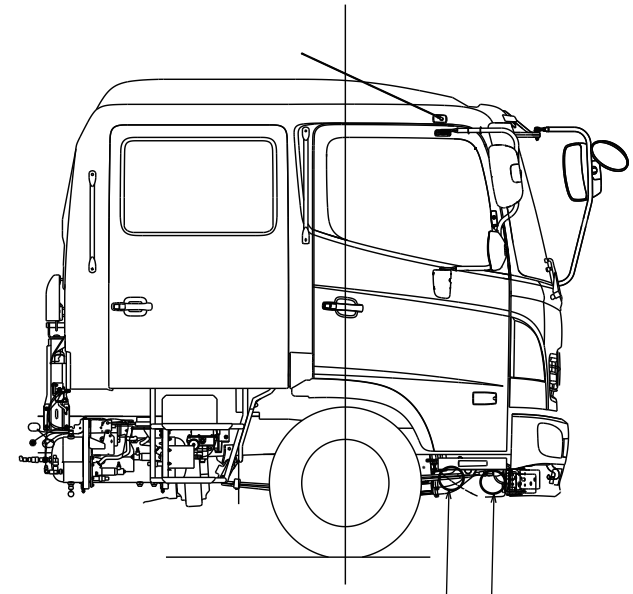



搭載用ユニット
インパネアッパパネル
搭載用
ブラケット
インパネパッド
助手席
ロアカバー
車両前方
インパネ
リインフォース

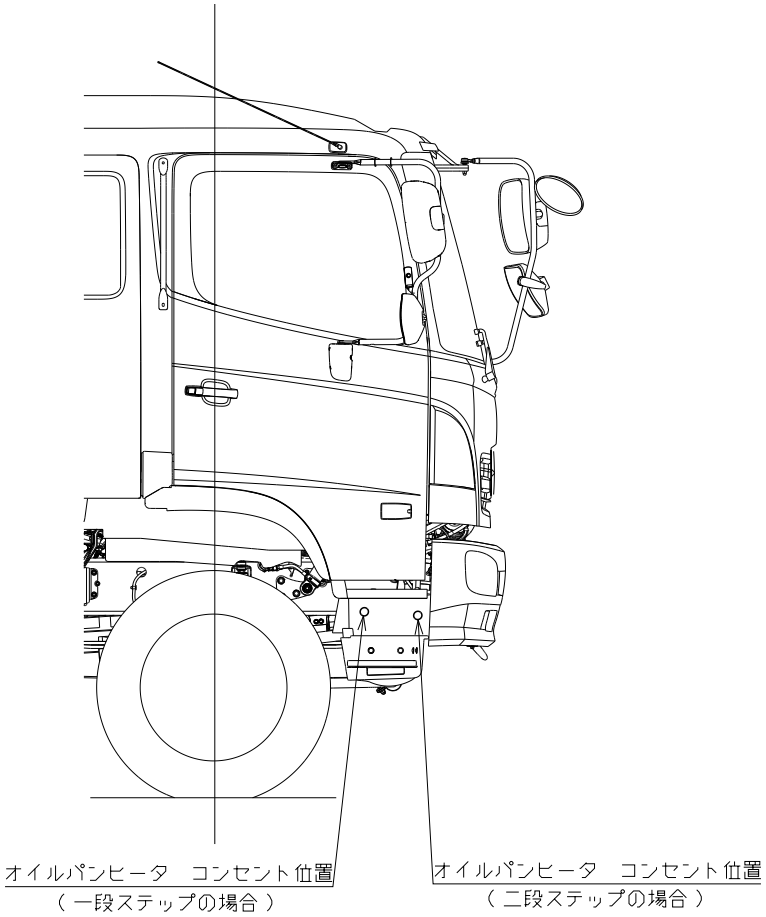
6－9　オイルパンヒータコンセント位置

右側ドアステップの下部位置にブラケットを介してコンセント位置が設けてあります。

（1）FT 車を除く



02（2）FT 車用

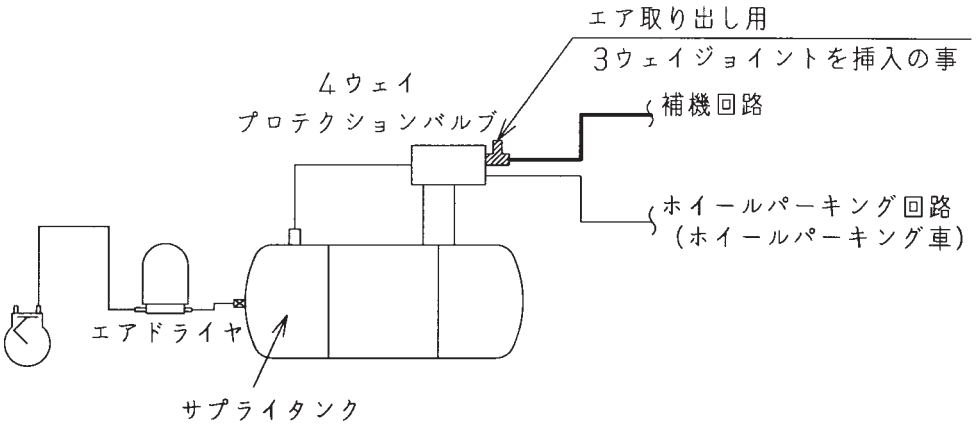


6－10　エア取り出しについて

上物架装物へのエア取り出しは、原則として禁止致します。万一、取り出す場合は次の部位にジョイントを追加し取り出し願います。

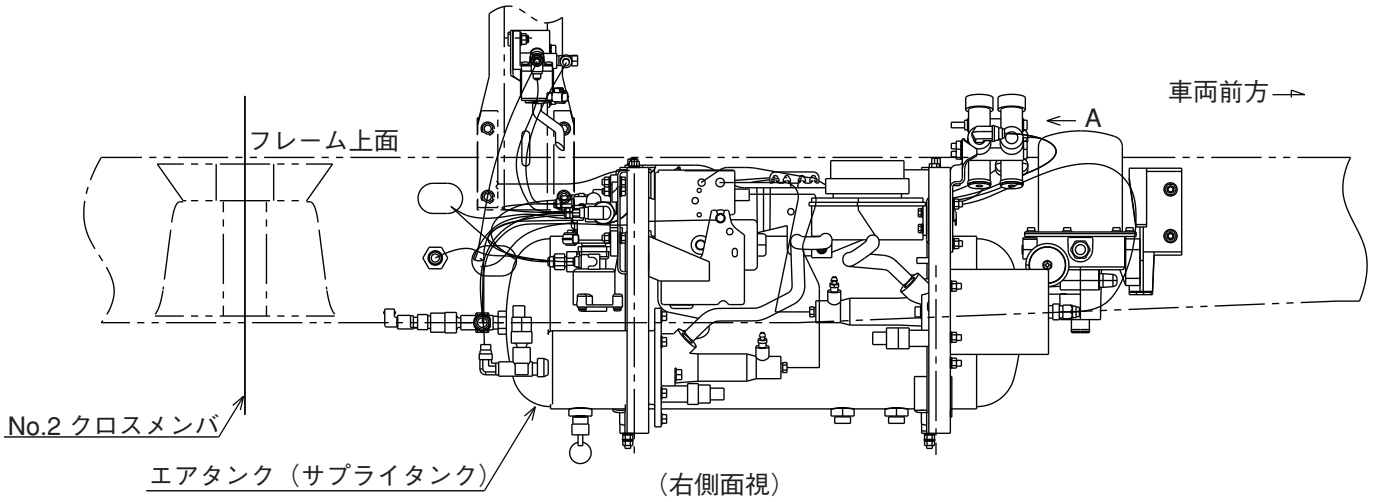
なお、エア取り出しの注意については、共通編「4章　改造」を参照して下さい。

（1）エア取り出し回路図



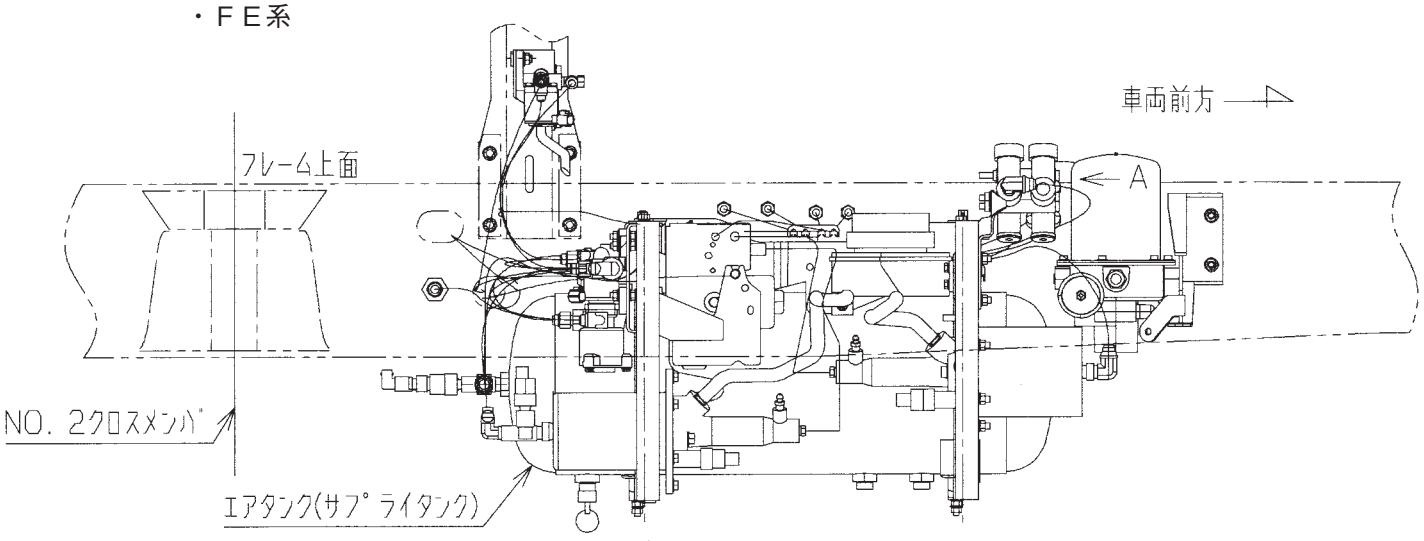
（2）エア取り出し位置図

・FD，GD系



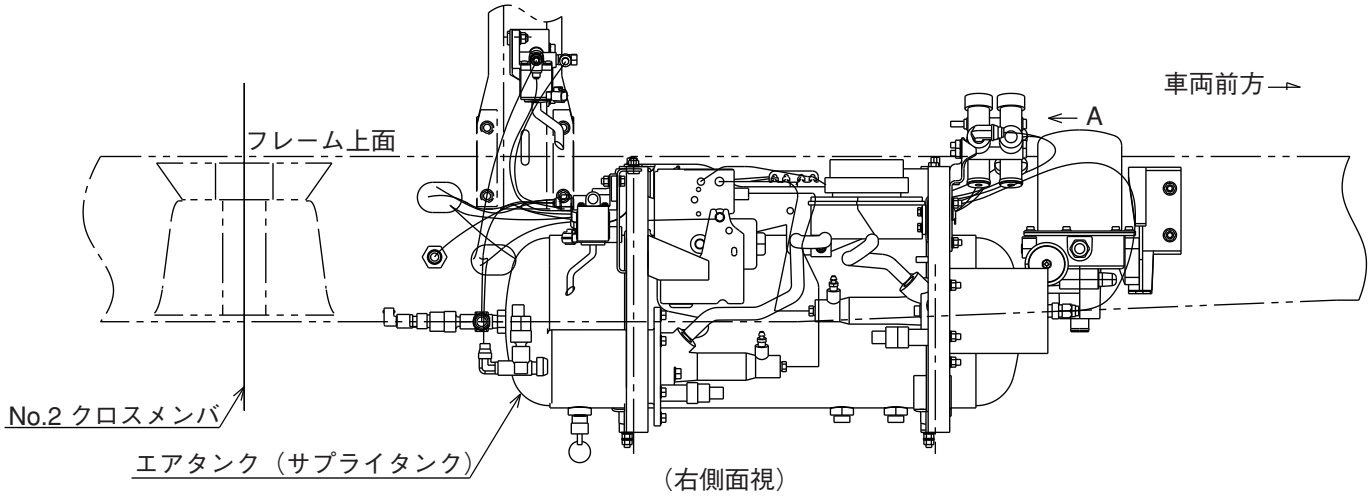
（右側面視）

・FE系



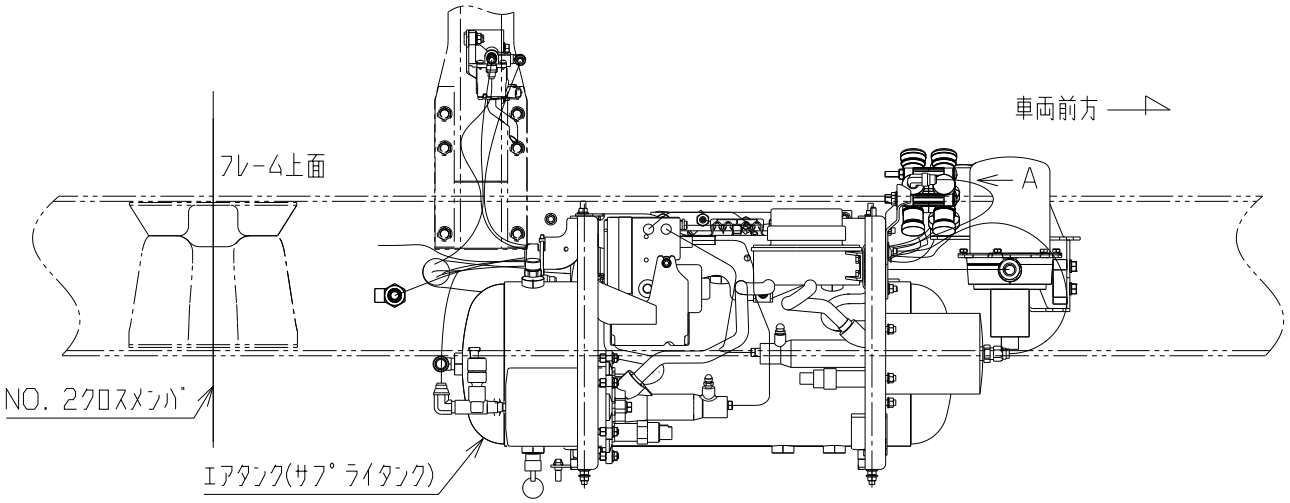
（右側面視）

・ＦＸ，ＧＸ系

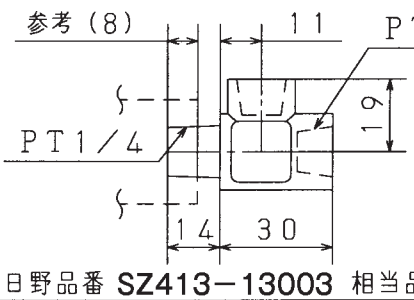


（右側面視）

02・ＦＴ系



（右側面視）



02 日野品番 SZ413－13003 相当品詳細

＊　なお、エア取り出し用３ウェイジョイントは
02 日野品番 SZ413－13003 相当品のこと。
また、ジョイントを追加した場合はジョイント部の
チューブ先端を約２０ｍｍカットのこと。
３ウェイジョイントの締付トルク２５±５N·m で締付のこと。

6－11　キャブ塗装後の取付け部品（交換部品）について

当該部品はキャブ塗装を実施する際に取外して下さい。ただし、キッキングプレート類は取付けてありません。キャブ塗装後の取付け部品（交換部品）がキャブ室内に搭載（ダンボール箱）し出荷されますのでキャブ塗装後は、下記取付け要領に従って取付けて下さい。

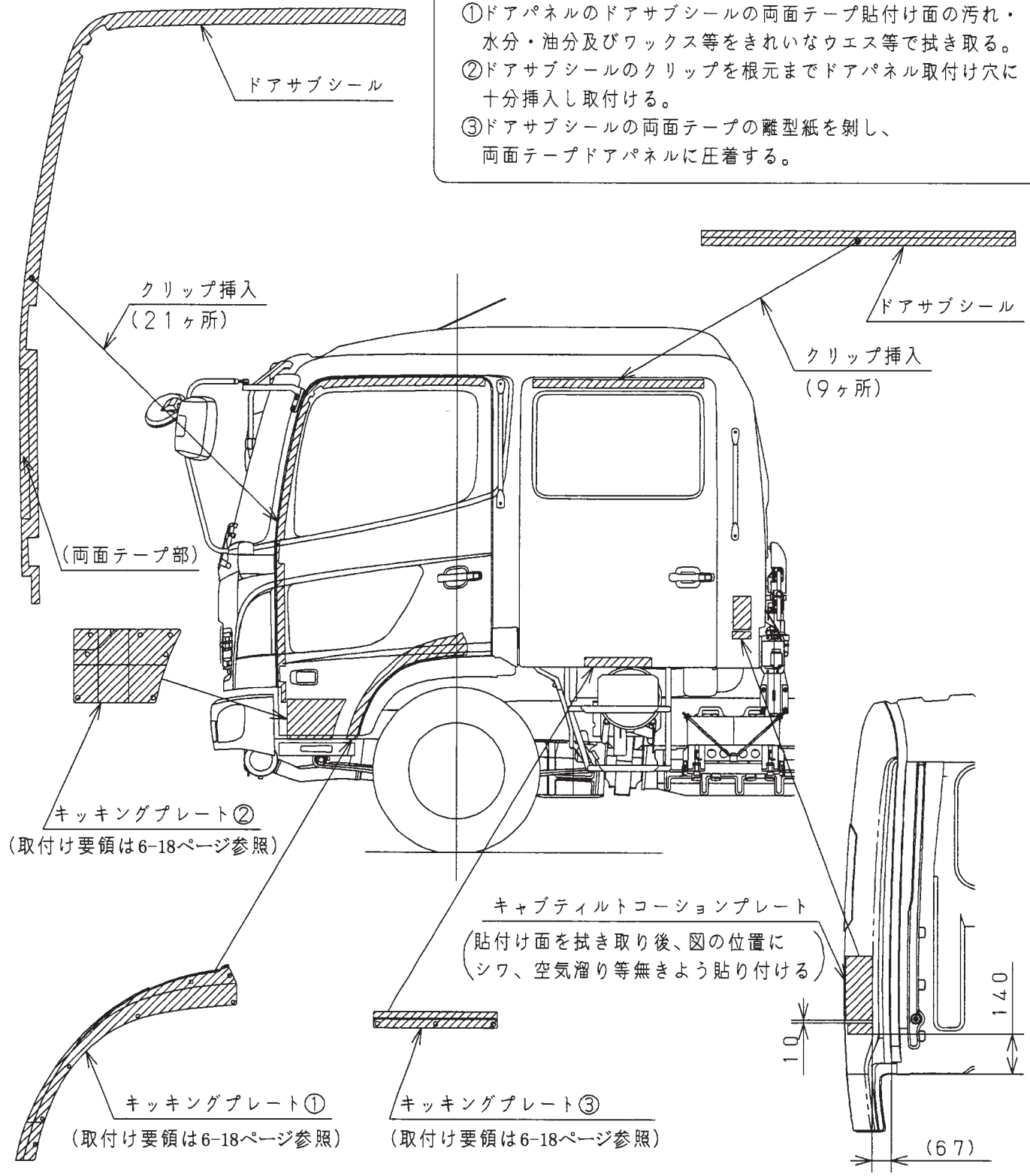
搭載部品：キッキングプレート、ドアサブシール、キャブティルトコーションプレート各１式

お願い　：ダンボール箱には上記部品の他、お客様にお渡しする部品（1.電源取出しコードケーブル、2.キャブティルト手動レバー）が同梱されていますが、この部品はそのままダンボール箱に入れて箱の蓋をガムテープ等で止めて出荷願います。

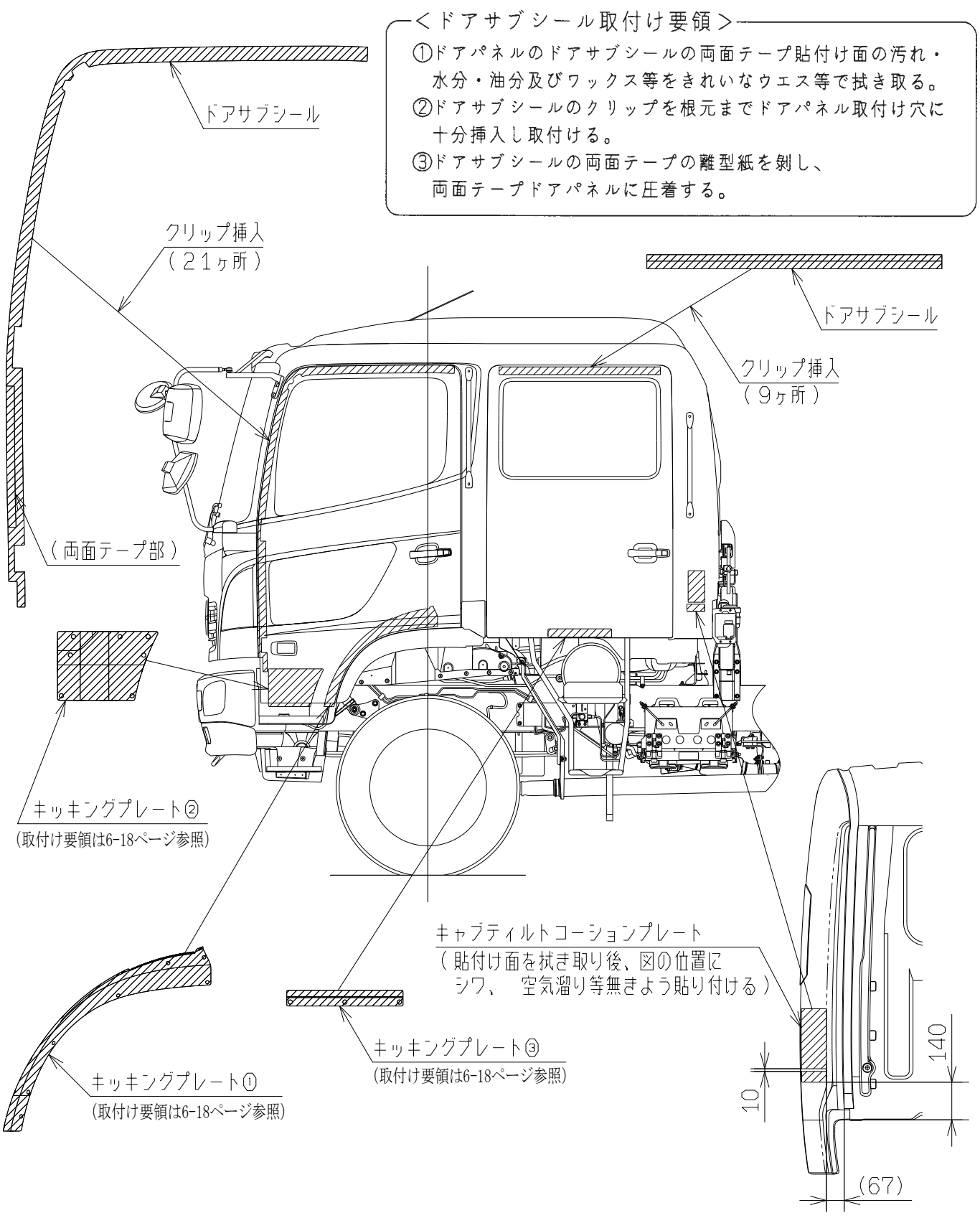
（1）FT 車を除く

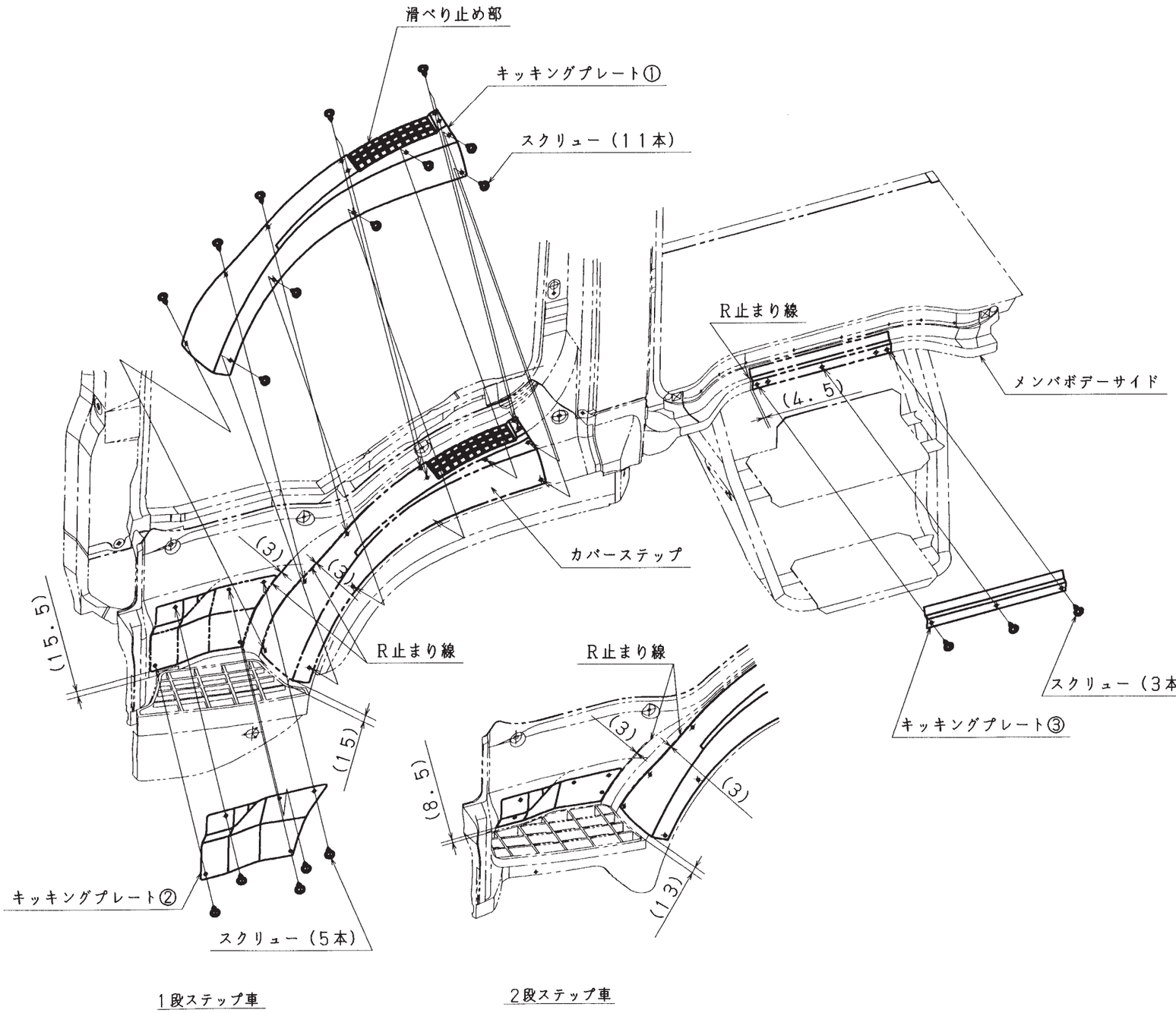
＜ドアサブシール取付け要領＞

①ドアパネルのドアサブシールの両面テープ貼付け面の汚れ・水分・油分及びワックス等をきれいなウエス等で拭き取る。
②ドアサブシールのクリップを根元までドアパネル取付け穴に十分挿入し取付ける。
③ドアサブシールの両面テープの離型紙を剥し、両面テープドアパネルに圧着する。



02（2）FT 車用


＜ドアサブシール取付け要領＞
①ドアパネルのドアサブシールの両面テープ貼付け面の汚れ・水分・油分及びワックス等をきれいなウエス等で拭き取る。
②ドアサブシールのクリップを根元までドアパネル取付け穴に十分挿入し取付ける。
③ドアサブシールの両面テープの離型紙を剥し、両面テープドアパネルに圧着する。
ドアサブシール
クリップ挿入
（21ヶ所）
ドアサブシール
クリップ挿入
（9ヶ所）
（両面テープ部）
キッキングプレート②
(取付け要領は6-18ページ参照)
キャブティルトコーションプレート
（貼付け面を拭き取り後、図の位置に
シワ、　空気溜り等無きよう貼り付ける）
キッキングプレート③
(取付け要領は6-18ページ参照)
キッキングプレート①
(取付け要領は6-18ページ参照)
140
10
(67)



1段ステップ車

2段ステップ車

＜キッキングプレート取付け要領＞

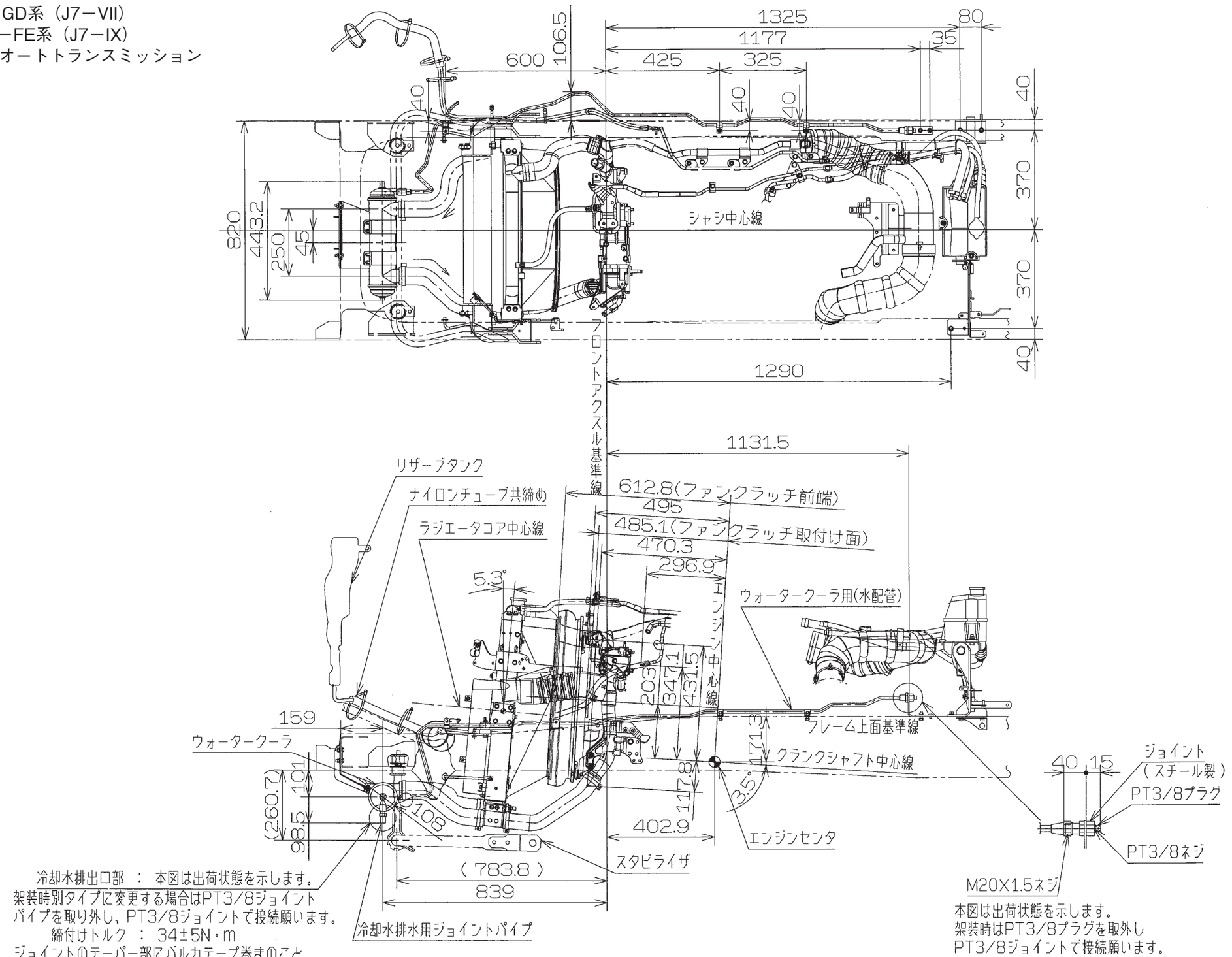
1．キッキングプレートを左図の位置へ仮置きする。
　尚、キッキングプレート①は、キッキングプレートと
　カバーステップの滑べり止め部分を合わせる。
2．キッキングプレート側の穴をガバリにし、
　カバーステップ及びメンバボデーサイドに
　取付穴（φ３．２）を明ける。
3．スクリューでキッキングプレートを締付ける。

6－12　サブラジエータ取付および冷却水導入口位置

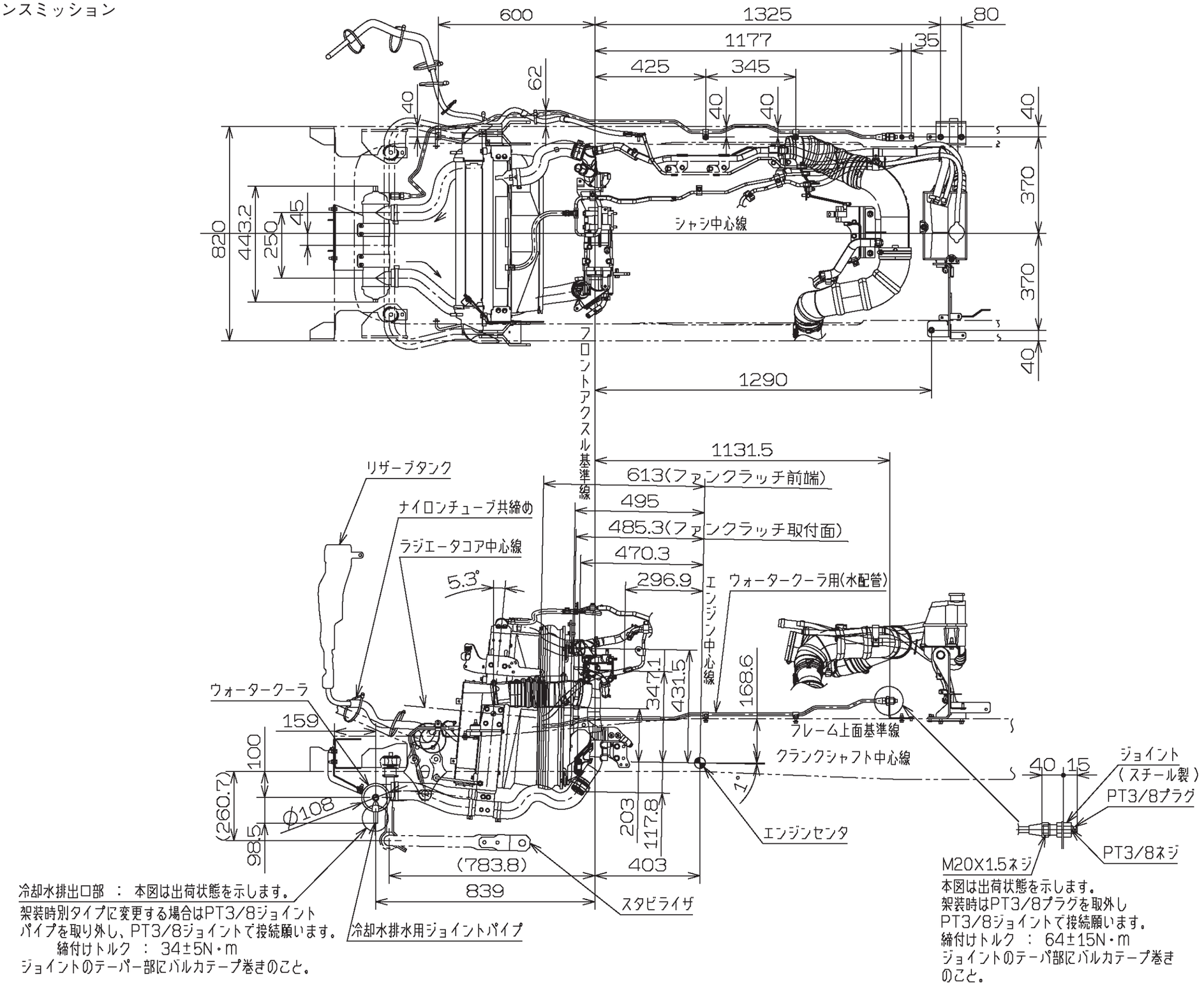
（1）SDG－FD, GD系（J7－VII）

04 LDG, QKG－FE系（J7－IX）

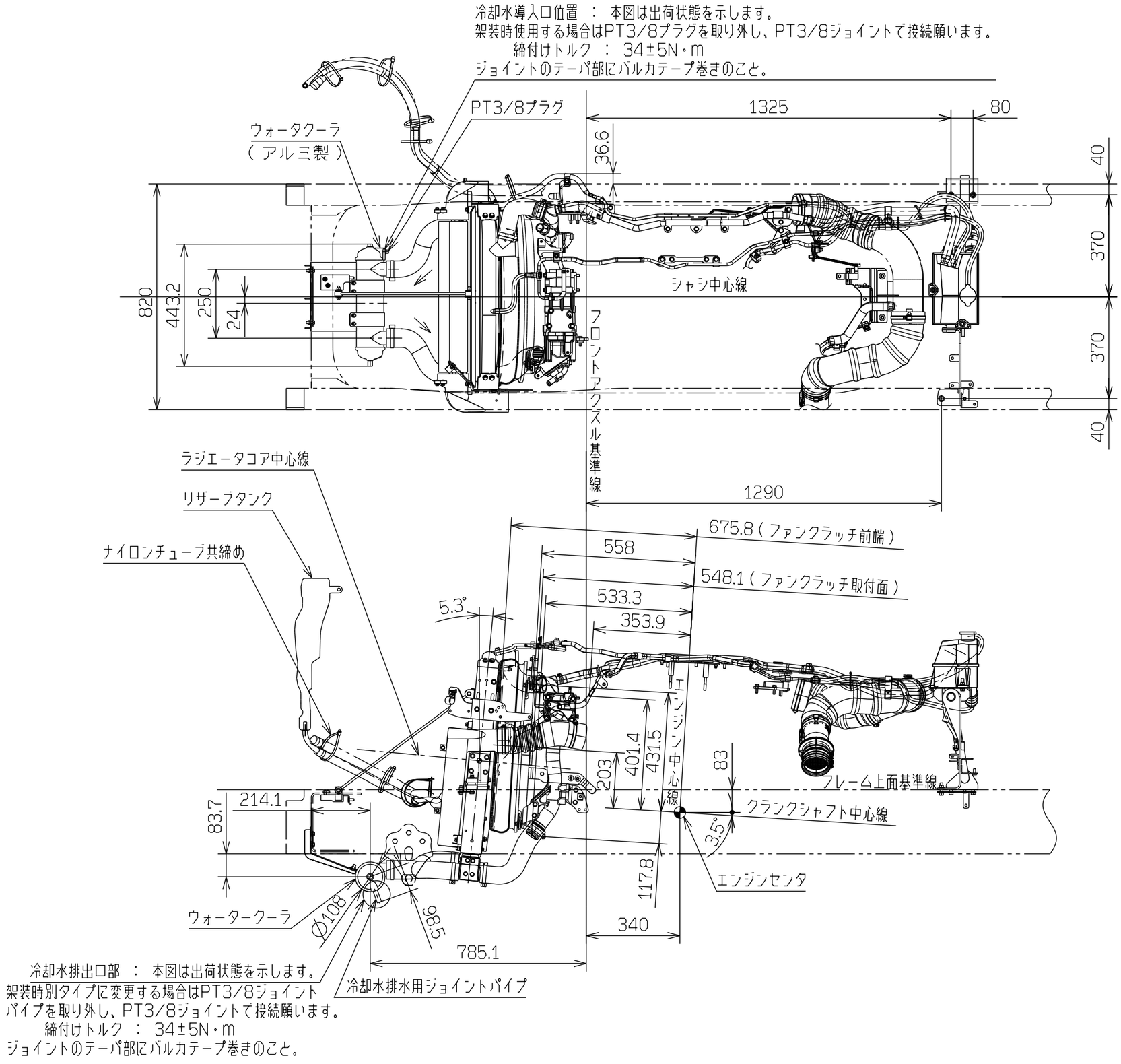
6段およびオートトランスミッション



（2）SDG－FX, GX系（J7－VII）
6段トランスミッション



02（3）LDG－FT系（J8－VII）
オートトランスミッション



６－１３　電子機器装置の取扱いに関する注意事項

６－１３－１　改造禁止について

車両に搭載されている各種の電子機器装置の改造は電線の損傷、装置の誤作動等の原因となりますので絶対に行わないで下さい。

６－１３－２　アース取外し時の注意

架装作業等によりアースケーブルを取外した場合は確実にアースケーブル端子を取付け、ECU アースコネクタが結合されていることを確認してからキースイッチを「ON」にして下さい。（ECU 等の焼損防止）
詳細につきましては共通編「５－２項（９）バッテリの移設」を参照下さい。

04 6－１４　NOx センサの取扱いについて

NOx センサの取扱いについては、共通編「３章　排気系」を参照下さい。